

株式会社安江工務店御中

報 告 書

令和2年7月21日

R2-44

試験の名称：無添加厚塗りしっくいのコロナウイルス（ヒト）

不活効果試験

特定非営利活動法人 バイオメディカルサイエンス研究会

〒141-0021 東京都品川区上大崎2-20-8-3F

TEL : 03-5740-6181 FAX : 03-5740-6185



試験の名称：無添加厚塗りしっくいのコロナウイルス（ヒト）不活効果試験

依頼者：株式会社安江工務店

受託者：特定非営利法人バイオメディカルサイエンス研究会

試験主任者：常任理事 水越 幹雄

試験実施施設：千葉県習志野市茜浜 1-12-3

特定非営利法人バイオメディカルサイエンス研究会習志野実験施設

資料の保管場所：同上

報告書作成日：令和2年7月21日

報告書作成者：常任理事 水越幹雄

無添加厚塗りしっくいのコロナウイルス（ヒト）不活効果試験

目的：無添加厚塗りしっくいのコロナウイルス（ヒト）不活効果を検証する。

材料

- 被験物質：①無添加厚塗りしっくいサンプル
②ビニールクロスサンプル
- 使用ウイルス：Human Coronavirus 229E (ATCC VR-740)
使用細胞：MRC-5 Lang Fibroblast (ATCC171)

試験方法 (ISO 18184 準拠)

- 本試験
 - 無添加厚塗りしっくいサンプル 2枚にそれぞれヒトコロナウイルス液 200 μ L を 5か所に垂らした後、冷暗所にて密閉容器内で 25℃ に 5分間ならびに 120分間保つ。
 - 5分間後ならびに 120分後無菌ピンセット・綿棒を用いて無添加厚塗りしっくいを剥離回収し、バイアル瓶に移す。
 - ただちに SCDLP 培地を 8mL 加え、バイアル瓶をヴォルテックスで 1分間×3回抽出後ブラックアセイまで 4℃ に保つ。
 - また、ビニールクロスサンプルについては、同様に処理する。
- 感染価測定：MRC-5 によるブラックアセイ法で行う。

成績：成績は下表のようであった。試験開始前では 3.5×10^5 PFU/0.1m l のウイルスが検出された。5分後サンプルはコロナウイルス（ヒト）が全く検出されなかった。2時間後、サンプルはコロナウイルス（ヒト）が全く検出されなかった。ビニールクロスサンプルではヒトコロナウイルスの不活化はなかった。

作用時間	被験織物	感染価 (PFU/0.1mL)
開始前	無添加厚塗りしっくいサンプル	3.5×10^5
	ビニールクロスサンプル	3.5×10^5
5分	無添加厚塗りしっくいサンプル	$< 10^0$
	ビニールクロスサンプル	1.8×10^4
120分	無添加厚塗りしっくいサンプル	$< 10^0$
	ビニールクロスサンプル	7.3×10^4

考察：無添加厚塗りしっくいサンプルでは、5分後・120分の試験でヒトコロナウイルスは不活化され検出限界であった。したがって、無添加厚塗りしっくいにはヒトコロナウイルスに対する抗ウイルス効果が認められる。

以上